

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====  
【ソフト名】 SST G1 Lite2 アップデートインストーラ  
【対象製品】 SST G1 Lite2 日本語版  
【登録名】 SST G1 Lite2 Ver.3.1.9  
【アプリケーション名】 setup.exe  
【著作権者】 株式会社カンバス  
【動作環境】 Microsoft Windows 8 / 8.1 / 10 / 日本語版/ 英語版  
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。  
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。  
=====

<Ver.3.1.9> 2020.8

## 本バージョンアップによる変更内容

- 1) アップデート前に必ずお読みください
- 2) アンインストールからの再インストール時のチケットに関する注意点
- 3) アンインストールからの再インストール後にショートカットキー等の設定を引き継ぐための注意点
- 4) 機能追加・変更
  - 倍速再生（3～5倍速）
  - 字幕移動（片トラックのみの移動、現在位置から後ろの In, Out を移動）
  - 指定した文字を縦字幕で90度回転させて表示
  - コメントジャンプボタン
  - 字幕と原文の入替え
  - 字幕の結合（コメントの結合）
  - sdb 検索（レイアウトの記憶）
  - 画面調整（3840×2160（4K UHD）の追加）
  - ショートカットキー設定
  - Excel インポート（コメントのインポート追加）
  - 自由位置（位置の数値指定、一括指定）※有償オプション
  - その他
- 5) 機能修正
- 6) その他注意点
- 7) アップデータのダウンロード
- 8) アップデート手順（Ver3.1.1未済からのアップデート）
- 9) アップデート手順（Ver3.1.1以上からのアップデート）
- 10) ドングル更新手順

## 1) アップデート前に必ずお読みください

### ■アップデート時に出るメッセージについて

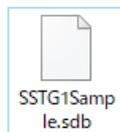
Ver3.1.1 未満 (1.1.1 または 1.1.2) から本バージョンにアップデートする際は、すでにインストールされている SSTG1Lite2 をいったんアンインストールする手順が自動的に実行されます。

アップデート (setup.exe) を実行すると「**SSTG1 Lite2 がインストールされています。アンインストールを開始してよろしいですか?**」とメッセージが出ますので、[はい]を選択し、アンインストールを開始してください。そのまま手順通り進めると、アップデートが完了します。

なお、ここでアンインストールを実行しても、お客様が設定されたユーザー設定・フォーマット情報・ショートカットキー設定などが消えることはありません。

詳細な手順は 8) 9) アップデート手順 をご覧ください。

 アップデート後に sdb ファイルのアイコンが白くなってしまう場合



アップデート後、sdb ファイルのアイコンが白くなってしまった場合は、下記の方法でプログラムの関連付けを行ってください。

#### 【方法 1】

白いアイコンをダブルクリックすると、「このファイルを開く方法を選んでください」とプログラムの選択画面が表示されます。その中に「SSTG1Unified.exe」が存在する場合はそちらを選択し、「常にこのアプリを使って.sdb ファイルを開く」にチェックを入れた状態で [OK] をクリックしてください。

#### 【方法 2】

方法 1 でプログラムの選択画面に「SSTG1Unified.exe」が出ない場合は、白いアイコンの sdb ファイルを右クリック→プロパティを開いてください。

① [全般] タブの「プログラム」の [変更] をクリック

② 「このファイルを開く方法を選んでください」とプログラムの選択画面が表示されます。その中に「SSTG1Unified.exe」が存在する場合はそちらを選択し、「常にこのアプリを使って.sdb ファイルを開く」にチェックを入れた状態で [OK] をクリックしてください。

③ ②にて選択画面に「SSTG1Unified.exe」が出ない場合は「その他のアプリ」をクリックしてくださ

い。「SSTG1Unified.exe」が存在する場合はそちらを選択してください。

④③にて選択画面に「SSTG1Unified.exe」が出ない場合は「このPCで別のアプリを探す」をクリックしてください。

⑤Cドライブ配下の[Program Files (x86)]-[CANVASs SSTG1 Series]フォルダを開きます。

⑥「SSTG1Unified.exe」を選択し[開く]をクリックしてください。

#### ■ドングル更新について ※Ver1.1.1をご利用のユーザー様のみご覧ください

本項目は、**Ver1.1.1 をご利用のユーザー様向け**となります。Ver1.1.2 以上をご利用中のユーザー様はドングル更新は不要です。

ご利用バージョンは[ヘルプ]-[バージョン情報]よりご確認ください。

「SSTG1 Dub」の発売に伴いセキュリティ設定を再構築したため、本バージョンをご利用いただくには「必ず」ドングル更新が必要となります。

ドングル更新をせずに新バージョンを利用した場合、編集機能等主たる機能がご利用できなくなるほか、その他、不具合が発生する可能性があります。

**Ver1.1.1 からアップデートされる方**は、まずは **10) ドングル更新手順** にてドングル更新をお申し込みください。

ドングル更新後は Ver1.1.1 で編集作業ができなくなりますので、必ずすべてのパソコンの SSTG1 Lite2 を最新バージョンにアップデートして下さい。

お手数をお掛け致しますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

#### ※ご注意！！

カンバスからのドングル更新用ファイルのご返信は、平日の営業時間内でのご対応となります。弊社休業中に先にソフトのアップデートをされますと、すぐにドングル更新を行えず、その間字幕編集ができませんのでご注意ください。その場合は、一度 SSTG1Lite2 をアンインストールし、Ver1.1.1 を再インストールしてください。

## 2) アンインストールからの再インストール時のチケットに関する注意点

SSTG1Lite2 使用中の PC で、いったんアンインストール後に再度インストールして起動すると、認証画面が表示されることがあります。

このとき、現在利用中のチケットとは別に未使用のチケット（ストック）があると、現在のチケットが有効中であっても、ストックのチケットが使用開始されます。

チケットのストックがある状態ではアンインストール→再インストールを行わないよう、くれぐれもご注意ください。

※アンインストールを手動で行わない通常のアップデートであれば問題ありません。

※本件はバージョンに関係なく発生します。本バージョンをお使いでない場合もご注意ください。

## 3) アンインストールからの再インストール後にショートカットキー等の設定を引き継ぐための注意点

Ver. 3.1.2にて、アンインストール後に再度インストールした場合、アンインストール前にお客様が設定されたユーザー設定やショートカットキー設定が残るよう改修しましたが、Windows の機能強化により、アンインストール時にこれらの設定がリセットされ、初期状態に戻ってしまう場合があることが分かりました。

アンインストールからの再インストール後に設定を確実に引き継ぐには、下記手順を行ってください。

※アンインストールを手動で行わない通常のアップデートであれば問題ありません。

※本件はバージョンに関係なく発生します。本バージョンをお使いでない場合もご注意ください。

### ■Ver3.1.1 以上をご利用の場合

ショートカットキー設定画面からエクスポートし、再インストール後、同画面から設定ファイルをインポートしてください。

※ユーザー設定、フォーマット設定、最終チェック項目フィルタ、最終チェックのチェックワードリストなど、あらかじめリストに保存してあるものは設定が消えることはありません。

### ■Ver3.1.1 未満をご利用の場合

ユーザー設定、ショートカットキー設定を各画面からエクスポートし、再インストール後、同画面から設定ファイルをインポートしてください。

※フォーマット設定、最終チェックのチェックワードリストなど、あらかじめリストに保存してあるものは設定が消えることはありません。

## 4) 機能追加・変更

—新再生モードにおいて、×3、×4、×5倍速再生ができるようになりました。

再生中に↑キーを1回押すごとに速度が1段階速くなります。

再生中に↓キーを1回押すごとに速度が1段階遅くなります。

〔例〕2倍速再生中に↑キーを3回押す・・・5倍速再生

4倍速再生中に↓キーを1回押す・・・3倍速再生

再生速度はインジケータ  
の右端に表示されます



通常再生の速度に戻すには、以下のいずれかを行ってください。

①Speedが「1.0」になるように↑↓キーを押下する。

②〔設定〕-〔ショートカットキー設定〕-〔ビデオ操作〕タブで「等倍速再生に戻す」にショートカットキーを設定し、これを押下する。

※×3、×4、×5倍速再生は、等倍速再生に対し、正確に3倍、4倍、5倍の速度で再生することを保証するものではありません。

※×3、×4、×5倍速再生では音声が出ません。

※高画質映像など、一部の映像では指定の速度に満たないことがあります。

※パソコンのスペックによっては指定の速度に満たないことがあります。

※WMVの映像は新再生モードでは動作保証していないため、本機能も動作保証対象外です。

※インターレースの映像は本機能の動作保証対象外です。

※SSTG1モードには対応しておりません。

### ●字幕移動

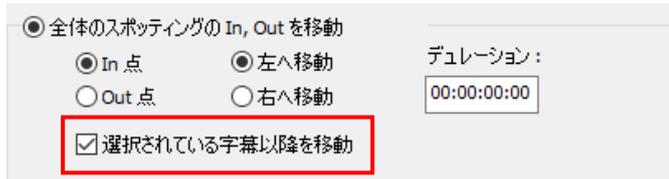
—片方のトラックのみ移動ができるようになりました。

従来のバージョンではAトラックとBトラックの両方を移動していましたが、片方のトラックの字幕のみを移動できるようになりました。



—「全体のスポットティングの In, Out を移動」を、選択されている字幕以降だけに適用できるようになりました。

従来のバージョンでは字幕全体を移動することしかできませんでしたが、選択されている字幕以降の字幕だけを移動できるようになりました。



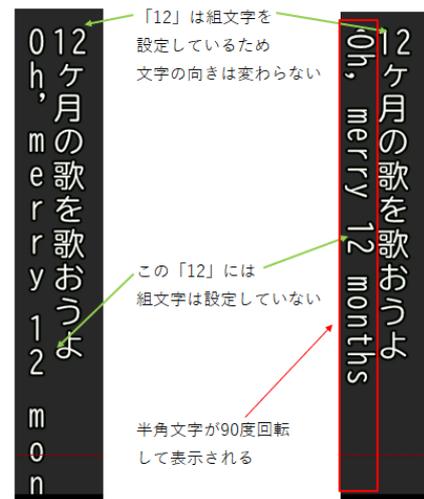
### ●指定した文字を縦字幕で 90 度回転させて表示

指定した文字を縦字幕で 90 度回転させて表示できるようになりました。

[設定]－[ユーザー設定]－[画面表示]タブで「縦字幕中の組文字以外の登録文字を 90 度回転させて表示する」にチェックを入れると、登録されている文字が右図のように 90 度回転し、寝た状態になります。

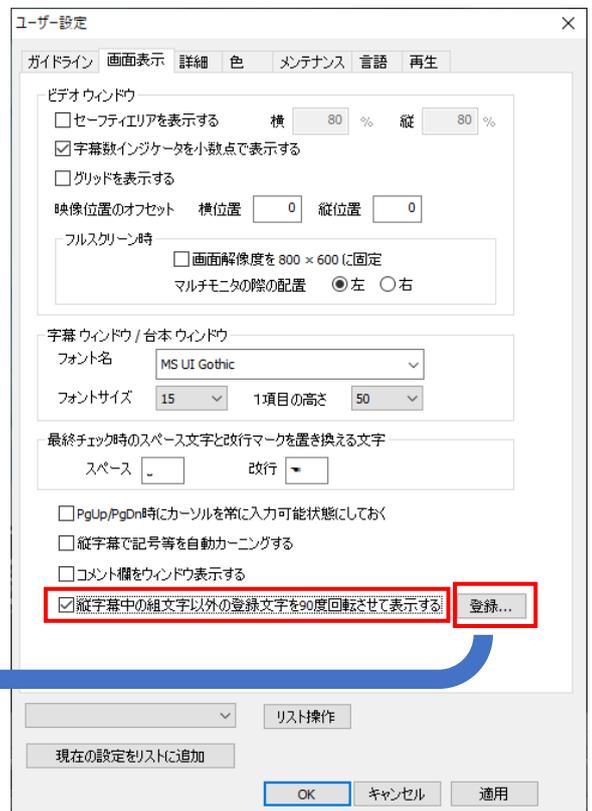
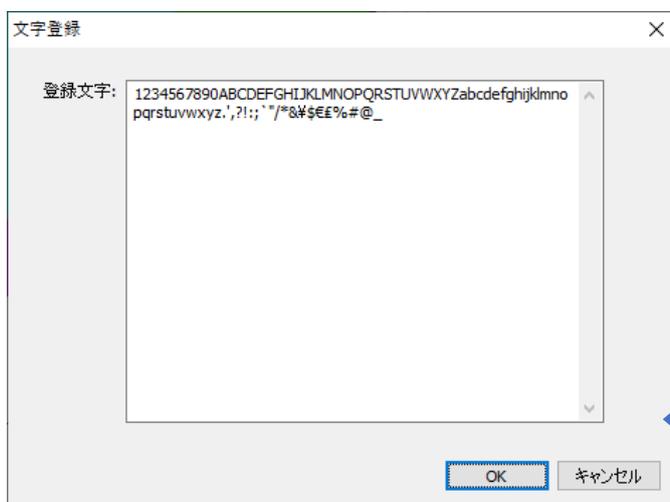
回転させたい文字は同画面の[登録]ボタンから登録を行います。

[例] 半角英数字を登録している場合



○回転させたい文字の登録ユーザー設定画面の右図の画面で[登録]ボタンをクリックすると、「文字登録」画面が表示されます。

初期値では下図のように半角英数字と一部の記号が登録されています。



ユーザー設定画面にて、[現在の設定をリストに追加]を行うと、回転させたい登録文字もユーザー設定リストに保存されます。

ユーザー設定リストに登録されている登録文字を変更した場合は、必ずユーザー設定画面でリストを上書き保存してください。

【ユーザー設定リストの上書き保存】

[現在の設定をリストに追加]をクリック → 上書きしたいリスト名をプルダウンから選択  
→ [OK]

#### < 注意 >

◆回転させる文字は sdb ファイルには保存されません。ユーザー設定に基づいて表示が変わりますので、sdb ファイルを受け渡して別の PC で開く際は、ユーザー設定を統一していただくか、ユーザー設定も一緒にインポートしてご利用ください。

◆以下の文字は縦字幕の場合、自動的に回転や位置調整が行われるため登録はできません。

自動的に調整される文字：

「「 { 《 [ < « [ [ < 『 { [ ( ( < 」 } » ] ] > » ] ] } } ) ) > ” …… — — — — — ~ . . = = “ ” “

#### ●コメントジャンプボタン

ツールバーにコメントジャンプボタンを追加しました。ボタンをクリックすると、コメントがある字幕を AB トラックまたはタイムコード順にジャンプします。



#### ●字幕と原文の入替え

字幕と原文を一括で入れ替えられるようになりました。

[字幕] - [字幕と原文を入れ替える]にて[はい]を選択すると、すべての字幕で原文ウィンドウの内容と字幕ウィンドウの内容が一斉に入れ替わります。表示位置やルビなどのエフェクトはすべて解除され、デフォルトフォーマットに戻ります。

#### ●字幕の結合

字幕の結合をした際、従来のバージョンでは後ろの字幕のコメントは消えていましたが、コメントも結合されるようになりました。

#### ●sdb 検索

最後に開いた際の画面サイズとレイアウトを記憶するようになりました。

## ●画面調整

[設定]－[画面調整 (画角)]の「目的モニタ (出力対象)」に「3840×2160 (4KUHD)」を追加しました。

## ●ショートカットキー設定

PageUp / Pagedown / Insert が単独でショートカットキーに設定できるようになりました。

※これらのキーは初期設定で下記機能のショートカットキーに割り当てられています。

別な機能で使用する場合は、この割り当てを先に削除してください。

PageUp： 前の字幕の in 点へ移動 (「ビデオ操作」タブ)

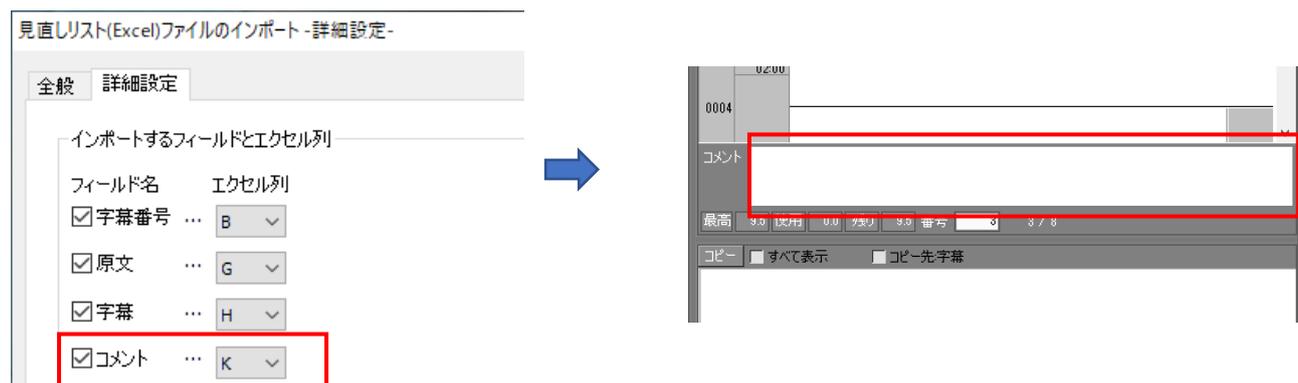
Pagedown： 次の字幕の in 点へ移動 (「ビデオ操作」タブ)

Insert： 空のデータをリストの最後に追加 (「字幕」タブ)

## ●Excel インポート

インポートするフィールドに「コメント」を追加しました。

インポート画面で「コメント」にチェックを入れると、指定したエクセル列のデータがコメント欄にインポートされます。



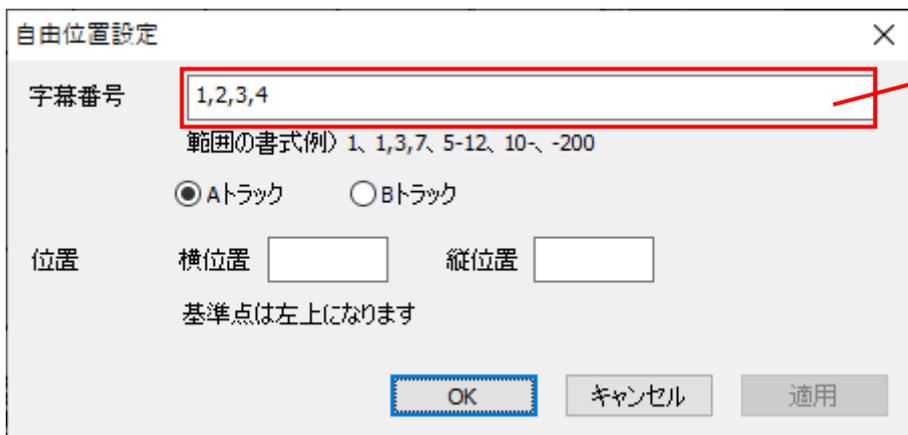
## ●自由位置 (有償オプション)

—位置を数値で設定できるようになりました。

—複数の字幕に一括で自由位置を設定できるようになりました。

自由位置を設定したい字幕を選択し(複数選択可)、右クリック→[自由位置設定]を選択すると、自由位置設定画面が表示されます。

もしくは[字幕]—[自由位置設定]でも同画面が表示されます。



[字幕]—[自由位置設定]で表示すると、字幕番号は空欄です。例に従って入力してください。

### <自由位置の指定の仕方>

基準点とは…

ビデオウィンドウ上で字幕をクリックすると、下記画像のように緑線の枠が表示されます。

この枠線の左上を基準として、自由位置は移動します。



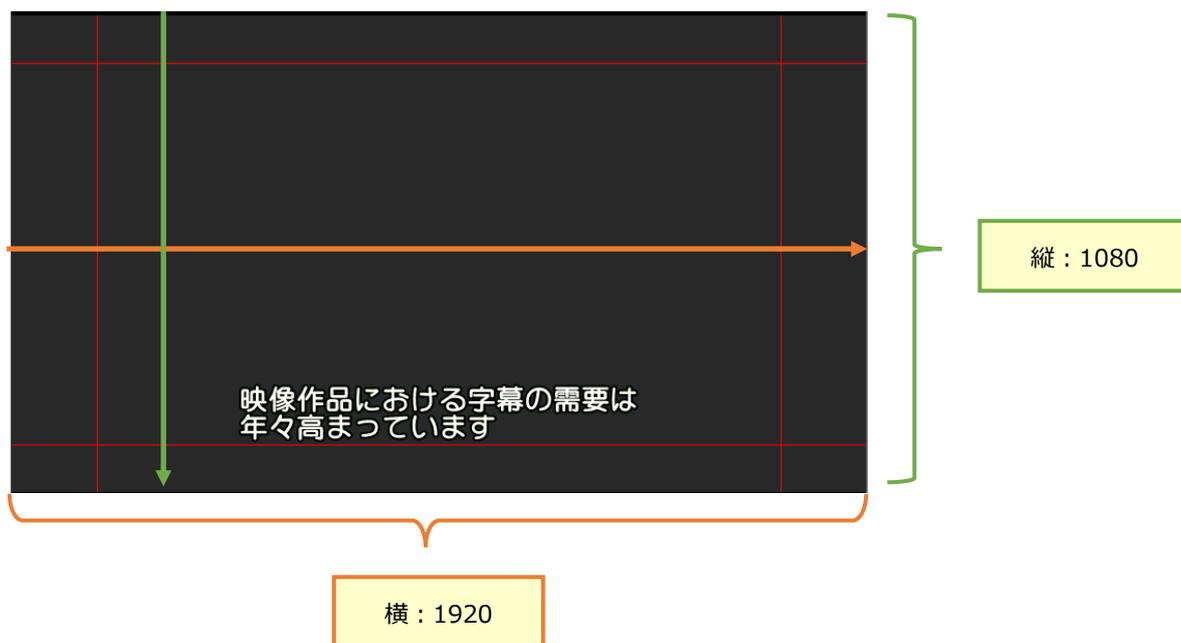
[位置]: ピクセル単位で移動する位置を数値で入力します。

画面調整の目的モニタの設定によって、横位置/縦位置の入力可能な最大値が下記のように変わります。

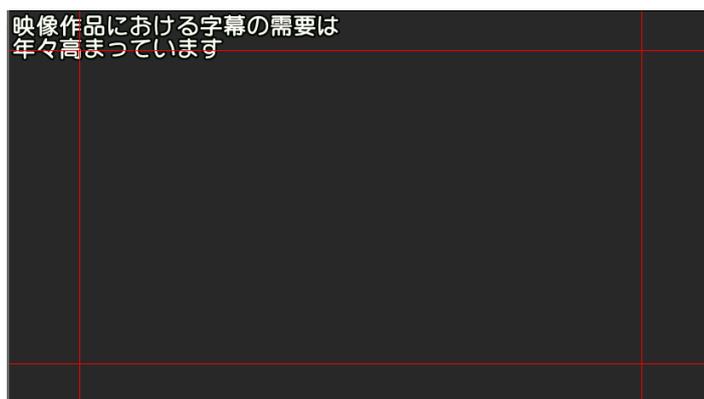
目的モニタの設定	横位置の最大値	縦位置の最大値	(単位:ピクセル)
720x480(4:3NTSC)	720	480	
720x480(16:9NTSC)	720	480	
720x576(4:3PAL)	720	576	
1280x720(16:9HD)	1280	720	
1920x1080(16:9Full HD)	1920	1080	
3840x2160(4KUHD)	3840	2160	
ユーザー設定	設定した数値	設定した数値	

※字幕が画面からはみ出す数値は設定できません

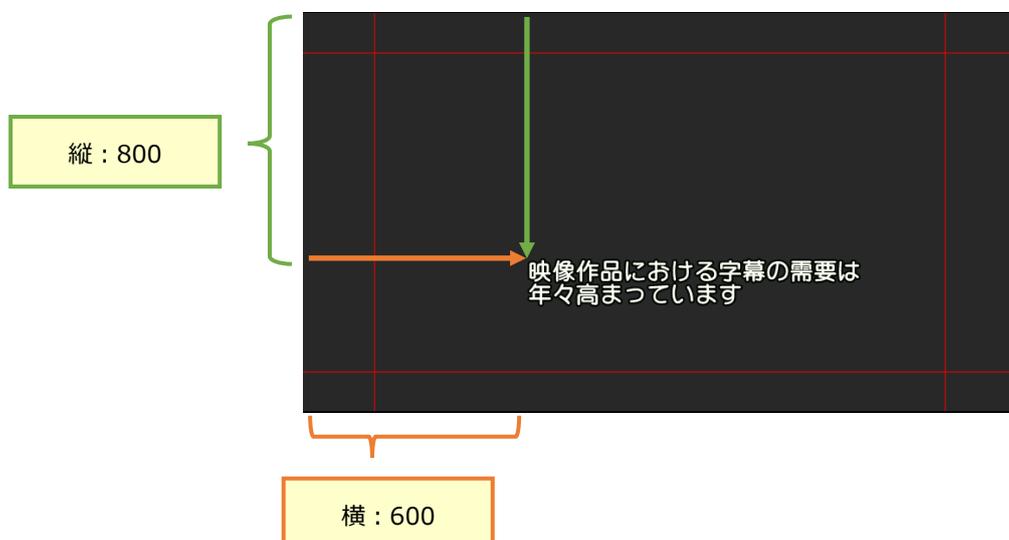
[例]：目的モニタを「1920×1080（16：9FullHD）」に設定



⇒横位置を「0」、縦位置を「0」とした場合



⇒横位置を「600」、縦位置を「800」とした場合



## ●その他

—波形ウィンドウ上でカーソルが画面の端まで進んでスクロールするとき、カーソルを画面中央ではなく逆端まで戻すことができるようになりました。

[ユーザー設定]—[再生]タブの「波形スクロール時にカーソルを端まで戻す」にチェックを入れると、以下の場合にカーソルが波形ウィンドウの逆端まで戻るようになります。

- ・映像再生時にカーソルが右端まで進んだとき・・・スクロール後、カーソルが左端に移動
- ・映像逆再生時にカーソルが左端まで進んだとき・・・スクロール後、カーソルが右端に移動
- ・Page Down (=ショートカットキーで「次の字幕の in 点に移動」に割り当てられているキー) を押し、選択しているスポッティングが右端まで進んだとき
  - ・・・スクロール後、次のスポッティングが左端に出る
- ・Page Up (=ショートカットキーで「前の字幕の in 点に移動」に割り当てられているキー) を押し、選択しているスポッティングが左端まで進んだとき
  - ・・・スクロール後、次のスポッティングが右端に出る

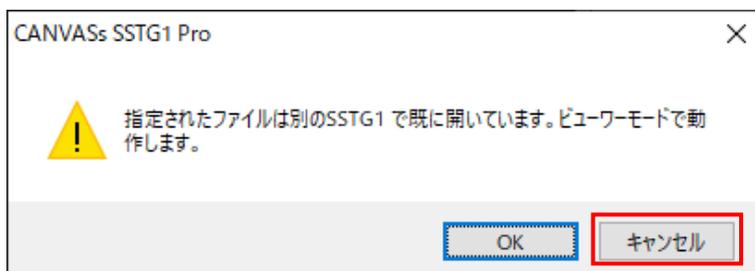
—Pageup / Pagedown で隣の字幕へ移動時に、トラックをまたいで移動できるようになりました。

Pageup / Pagedown で隣の字幕へ移動する際、従来は選択しているトラック内でタイムコード順に移動していましたが、トラックをまたいでタイムコード順に移動できるようになりました。

[設定]—[ユーザー設定]—[画面表示]タブの「PgUp/PgDn 時にトラックをまたいで移動する」にチェックを入れると、本設定に切り替わります。

—既にかいている sdb ファイルを別ウィンドウで開いた際に出てくるメッセージに「キャンセル」ボタンを追加しました。

既にかいている sdb ファイルを別ウィンドウで開くと「指定されたファイルは別の SSG1 で既にかいています。ビューワーモードで動作します。」というメッセージが表示されます。従来のバージョンでは「OK」ボタンしかなかったため必ず一度ビューワーモードで開かれていましたが、本バージョンよりキャンセルボタンが追加され、開かずにキャンセルできるようになりました。



## 5) 機能修正

—縦字幕の組文字にピリオドなどの記号が存在した場合、後ろの文字と重なってしまう問題を修正しました。

例) 「1.2」という組文字が存在した場合

従来のバージョン→

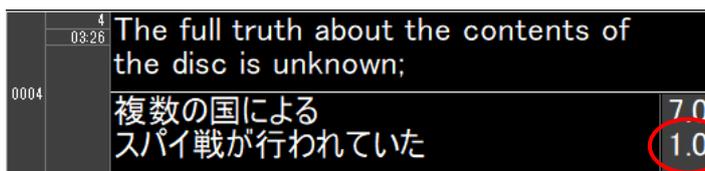


←本バージョン

—1行あたりの文字数で半角を0.5カウントにしたときに、数字が切れてしまうことがある問題を修正しました。

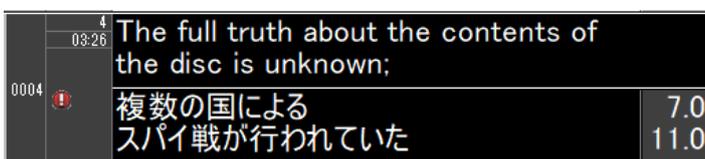
ユーザー設定の[ガイドライン]—「文字数(/行)」の「半角を0.5でカウントする」にチェックを入れた状態で、画面表示のフォントサイズが大きすぎると各行の文字数の十の位が切れてしまっていた問題を修正しました。

<従来のバージョン>



実際は「11.0」

<今回のバージョンから>



—縦字幕で、促音（小さい『っ』）、拗音（小さい『ゃ』『ゅ』『ょ』など）、ダッシュ（長音）が1行目に入った字幕において、促音・拗音・ダッシュが入っていない字幕と比べて、位置がわずかに横にずれる問題を修正しました。

< 注意 >

上記に該当した字幕があると、以下のエクスポート機能で、過去バージョンで出力した stl や txt と本バージョンで出力した stl や txt の横位置の座標数値が異なって出力されることがあります。stl や txt の差し替えなどがある場合はご注意ください。

- ・ Adobe Encore
- ・ DVD Studio Pro

●見直し用リスト（Excel）

●申し送りリスト

—「文字数」欄の値が、ユーザー設定の[ガイドライン]—「文字数(/行)」のオプション設定（※）を無視して 1文字=1カウント で出力されてしまう問題を修正しました。

※オプション設定：「半角を 0.5 でカウントする」「スペースをカウントしない」など

●ショートカットキー設定

—「字幕入力ウィンドウにフォーカスを移す」に Shift+任意のキーを設定していた場合、ショートカットキーで字幕入力ウィンドウにフォーカスを移した後、F11 再生後に←キー長押しで巻き戻しをすると、前の字幕の手前でカーソルが止まってしまう問題を修正しました。

—「字幕入力ウィンドウにフォーカスを移す」に Shift+任意のキーを設定していた場合、ショートカットキーで字幕入力ウィンドウにフォーカスを移した後、F11 再生中にその字幕内で再生を停止してから In 点・Out 点を調整しようとするできない問題を修正しました。

—「次の字幕の In 点へ移動」「前の字幕の In 点へ移動」にショートカットキーを設定しようとしても、キー欄の表示が変わらない問題を修正しました。

●ABトラックの入替え

—特定の状況で Aトラックと Bトラックの入替え（スポッティング上で右クリック-[B（または A）トラックの字幕と入れ替える]）を行った後に sdb を保存して開き直すと、入れ替えたスポッティングが消えている問題を修正しました。

## ●自由位置（有償オプション）

— 字幕の表示位置を自由位置から横下などに戻した後、矢印キーで再度字幕を動かそうとすると、戻す前の自由位置の位置に字幕が戻ってしまう問題を修正しました。

— 字幕の表示位置を自由位置から横下など戻した後、ツールバー上の自由位置ボタン  を押すと、戻す前の自由位置の位置に緑色の枠だけが表示される問題を修正しました。

— 字幕内に半角スペースが入っている状態で、自由位置をカーソルキーで上下に動かそうとすると、最初の一回目だけ斜め上もしくは斜め下にわずかに動く問題を修正しました。

## 6) その他注意点

— [設定]—[フォーマット設定] 画面で[現在のフォーマットをリストに追加]ボタンをクリックし、新しい登録名を入力する際、半角スペースのみの名前を登録しないようご注意ください。（文字と文字の間に半角スペースが入っている場合は問題ありません）

誤って登録してしまうと、これ以降、フォーマットをリストに追加することができなくなります。

— [設定]—[ユーザー設定] 画面で[現在の設定をリストに追加]ボタンをクリックし、新しい登録名を入力する際、半角スペースのみの名前を登録しないようご注意ください。（文字と文字の間に半角スペースが入っている場合は問題ありません）

誤って登録してしまうと、これ以降、フォーマットをリストに追加することができなくなります。

— PC によって wmv の再生が不安定になることがあります。その場合はお手数ですが映像の形式を mpeg1 や mp4 などに変換していただきますようお願い申し上げます。

## 7) アップデータのダウンロード

**!** 初めて SSTG1Lite2 をインストールする場合は、インストーラダウンロードより、最新バージョンのインストーラをダウンロードして下さい。アップデートは不要です。

ユーザーページよりログインし、「アップデートダウンロード」より、該当のバージョンのアップデートをダウンロードしてください。



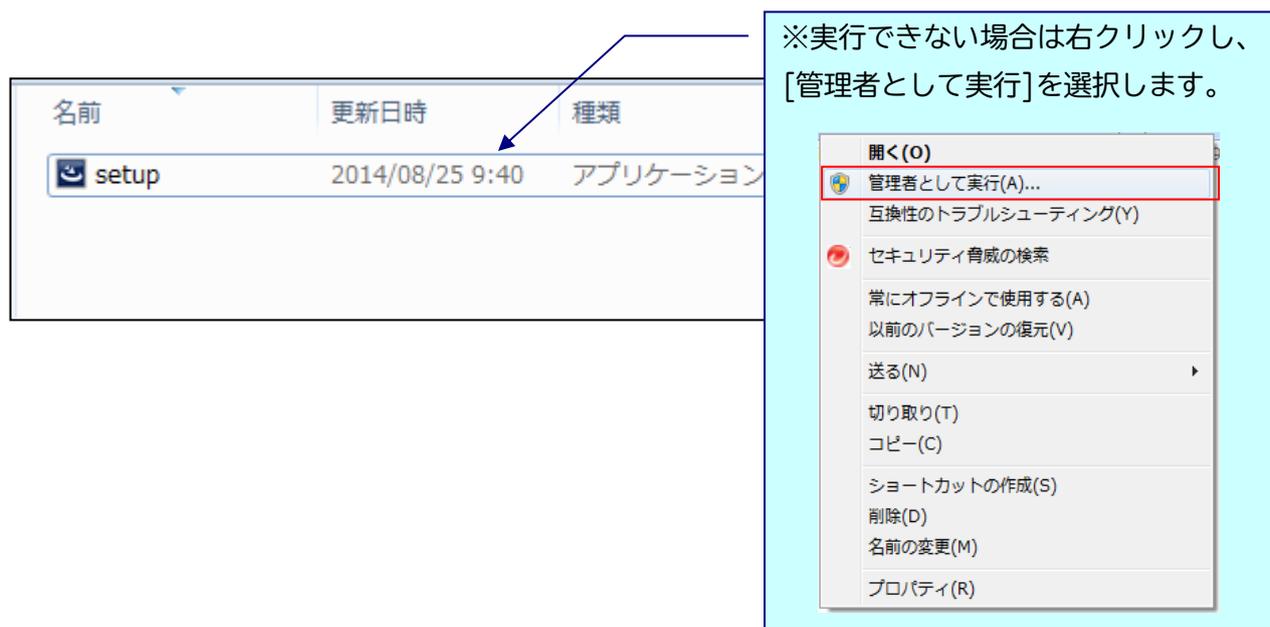
アップデート名	バージョン	リリースノート	アップデート
SSTG1Lite2 アップデータ	3.1.9	<a href="#">SSTG1Lite2_Ver.3.1.9 リリースノート</a>	ダウンロード
SSTG1Lite2 アップデータ	3.1.1	<a href="#">SSTG1Lite2_Ver.3.1.1 リリースノート</a>	ダウンロード
SSTG1Lite2 アップデータ	1.1.3	<a href="#">SSTG1Lite2_Ver.1.1.2 リリースノート</a>	ダウンロード

アップデート方法はダウンロードファイルの中に入っているアップデートガイドをお読みください。

## 8) アップデート手順 (Ver3.1.1 未滿からのアップデート)

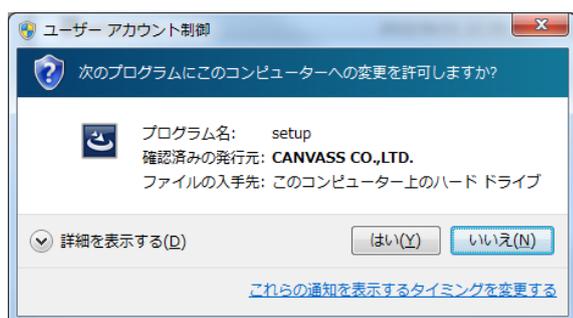
 アップデートする時は、dongleをさし込まないでください！

ダウンロードしたファイルを**解凍**または**展開**し、01\_[ソフト名]フォルダ内にある[setup (.exe)]をダブルクリックします。



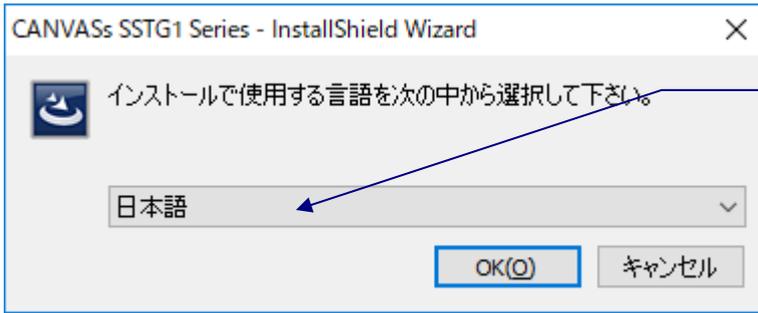
※この時、「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合があります。

表示された場合は、[はい]をクリックし次へ進んでください。



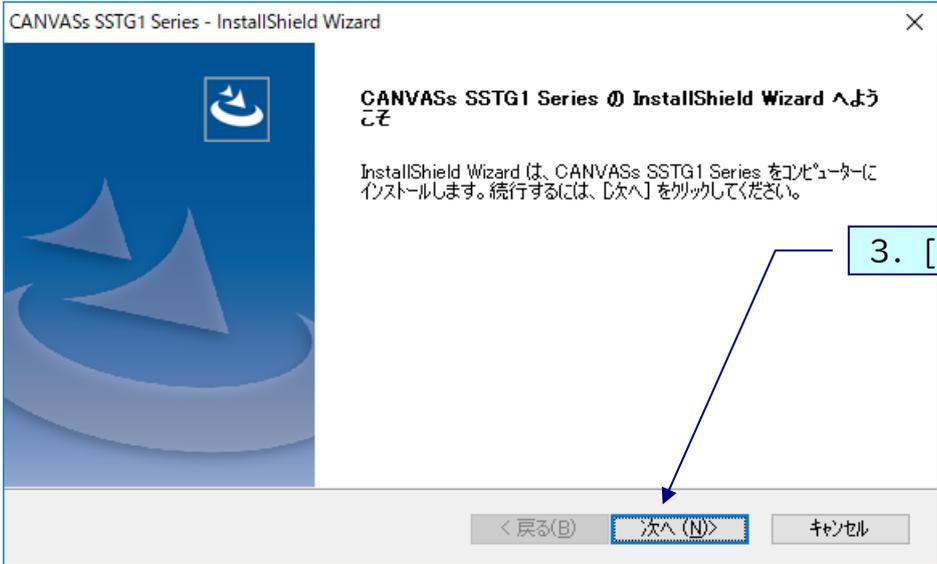
※黒い画面が出たのち、以下の画面がすぐに出ない場合があります。

操作を行わず、画面が出るまでしばらくお待ちください。

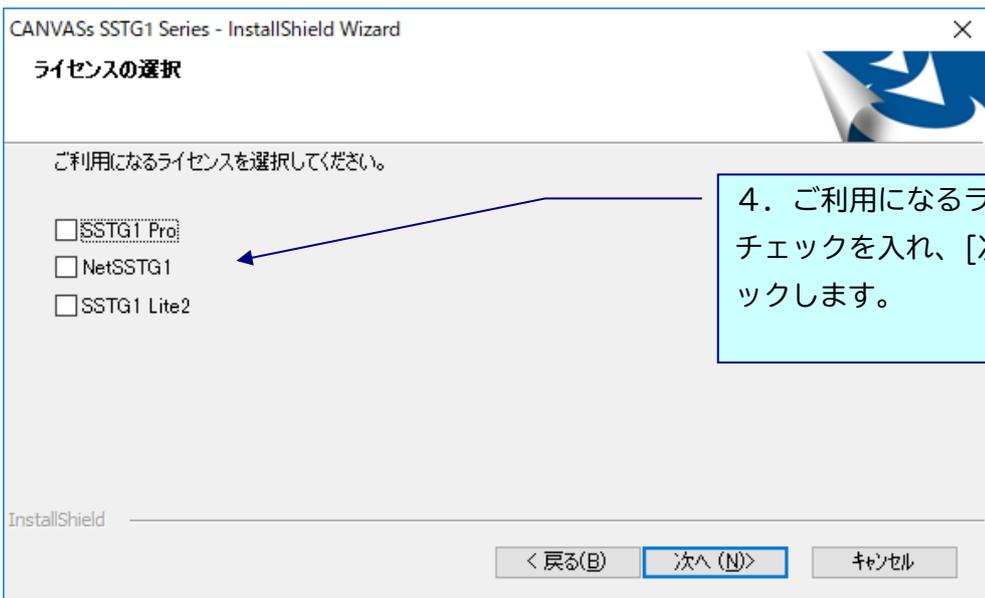


2. プルダウンから言語を選択し、[OK]をクリックします。

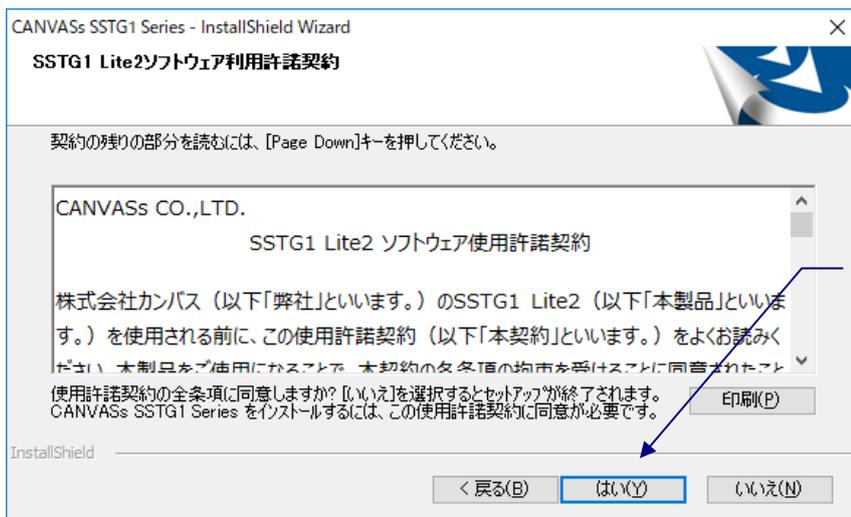
※以下は「日本語」を選択した場合の画面ですが、内容は英語の場合も同様です。



3. [次へ]をクリックします。

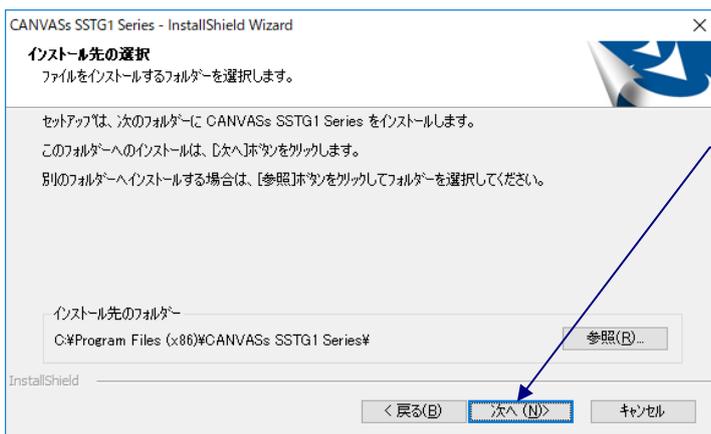


4. ご利用になるライセンスにチェックを入れ、[次へ]をクリックします。



5. [利用許諾契約]の内容をご確認いただき、[はい]をクリックします。

⚠ 4で複数ライセンス選択していた場合、各ライセンスの利用許諾契約が表示されます。



6. [次へ]をクリックします。

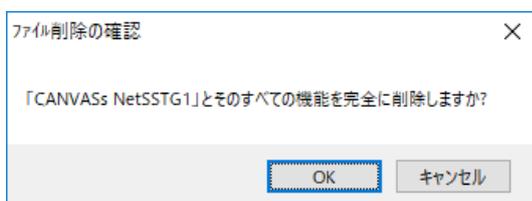
⚠ **アップデートの場合**

下記のメッセージが出ますので[はい]をクリックし、アンインストールを実行してください。

※フォーマット情報、ショートカットキー設定などは消去されません。

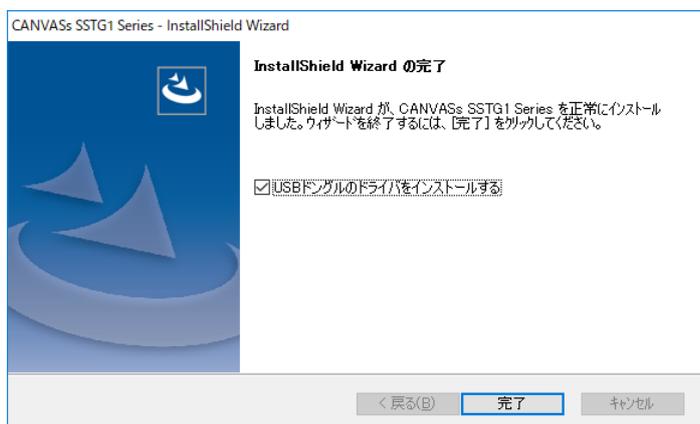


[はい]をクリック



[OK]をクリック

SSTG1Series のインストールがすべて完了すると、下記画面が表示されます。



「USB ドングルのドライバをインストールする」の**チェックを外し**、[完了]をクリックしてインストールを終了してください。

インストール終了後は、必ず PC を再起動してください。

■本バージョンから、プログラムの名前が一部で「SSTG1 Series」と表示されます。

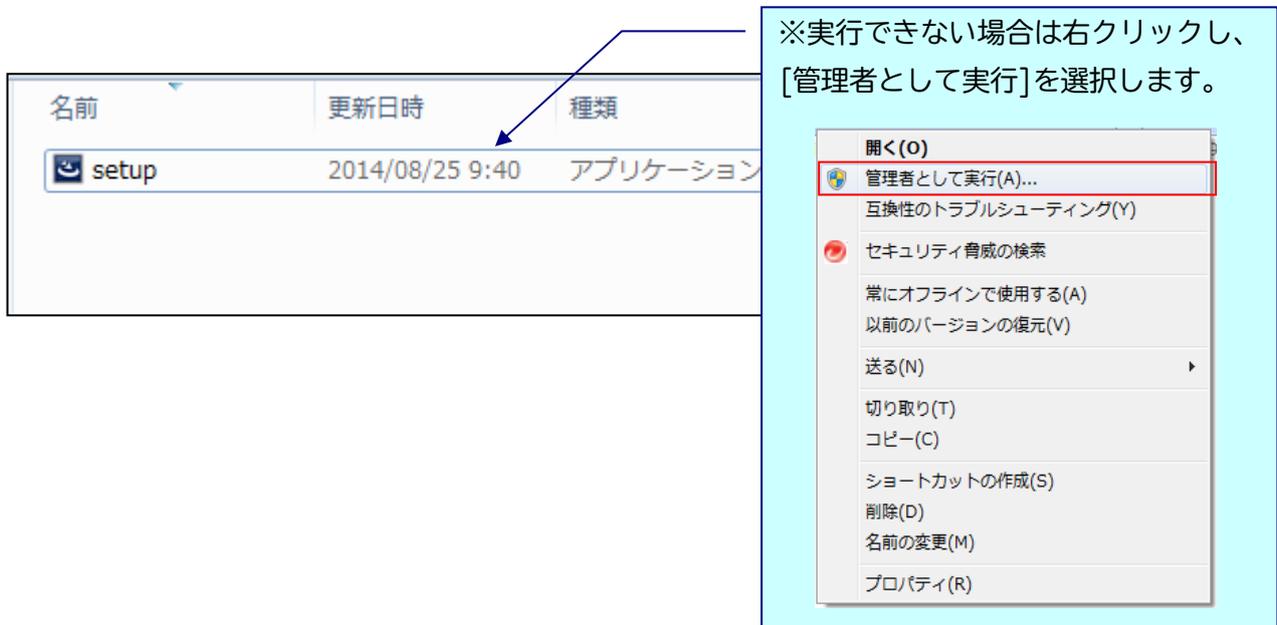
従来はコントロールパネルの「プログラム」（Windows10 の場合「アプリと機能」）を開くとソフト名が「CANVASs SSTG1Lite2」と表示されていましたが、本バージョンより「CANVASs SSTG1 Series」と表示されます。ソフトをアンインストールする際は、「CANVASs SSTG1 Series」を選択してください。

また、[ヘルプ]－[バージョン情報]に表示されるプログラム名も「CANVASs SSTG1 Series」となりました。お問い合わせの際は、こちらのプログラム名とバージョン情報をお知らせください。

## 9) アップデート手順 (Ver3.1.1 以上からのアップデート)

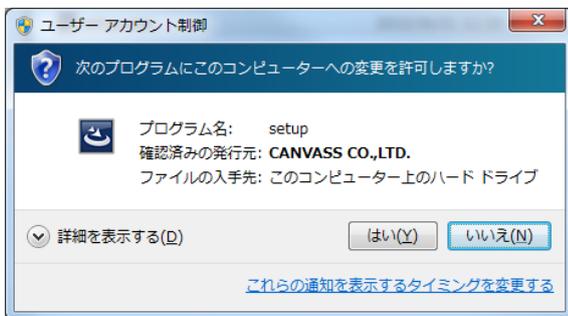
**⚠ アップデートする時は、dongleをさし込まないでください!**

ダウンロードしたファイルを**解凍**または**展開**し、フォルダ内にある[setup (.exe)]をダブルクリックします。



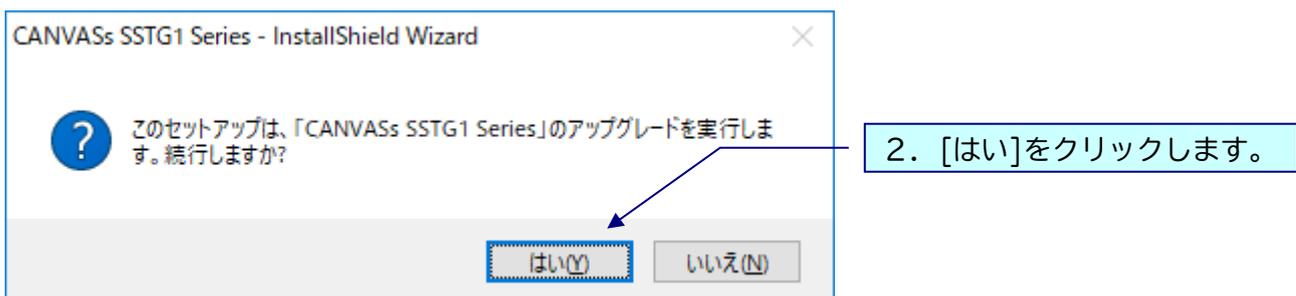
※この時、「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合があります。

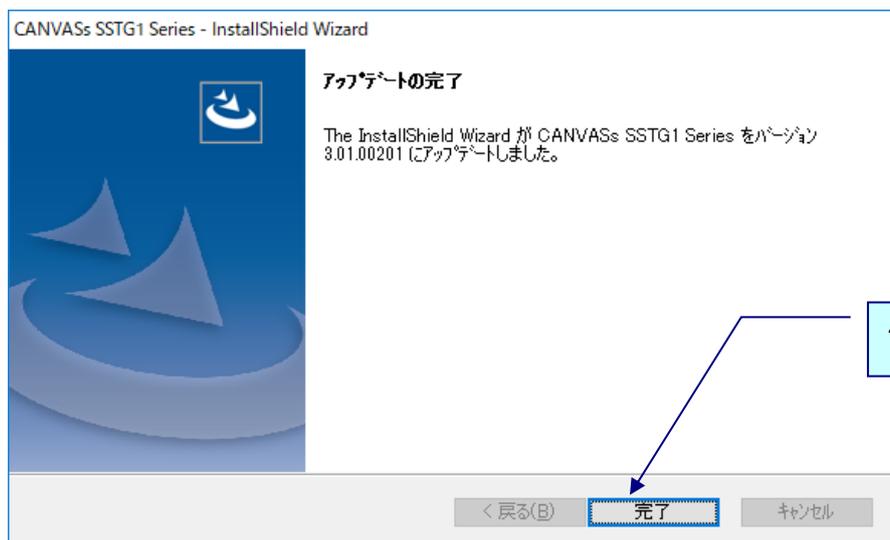
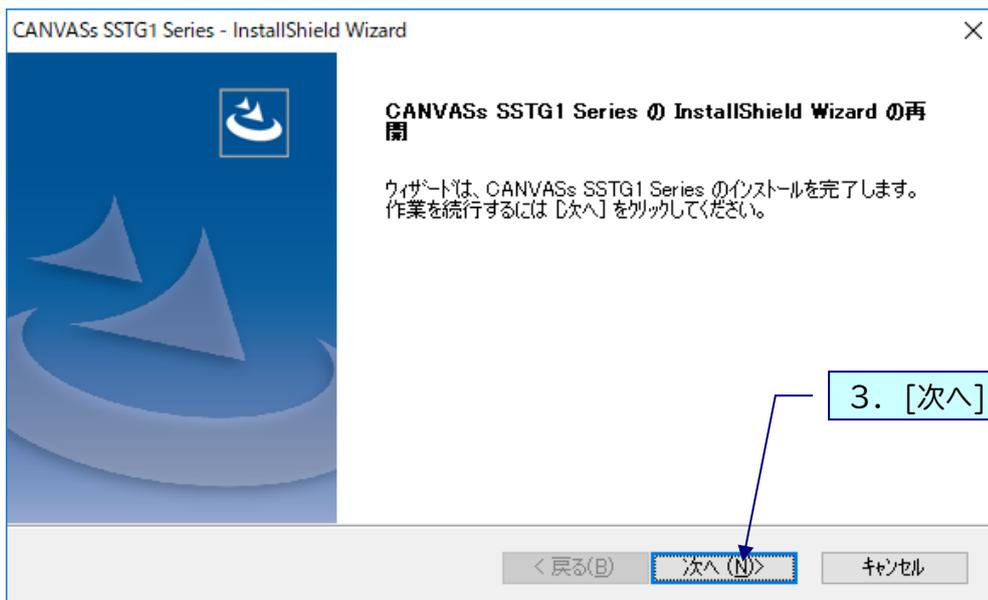
表示された場合は、[はい]をクリックし次へ進んでください。



※黒い画面が出たのち、以下の画面がすぐに出ない場合があります。

操作を行わず、画面が出るまでしばらくお待ちください。





 アップデート完了後は起動前に必ずパソコンの再起動を行ってください。

## 10) ドングル更新手順

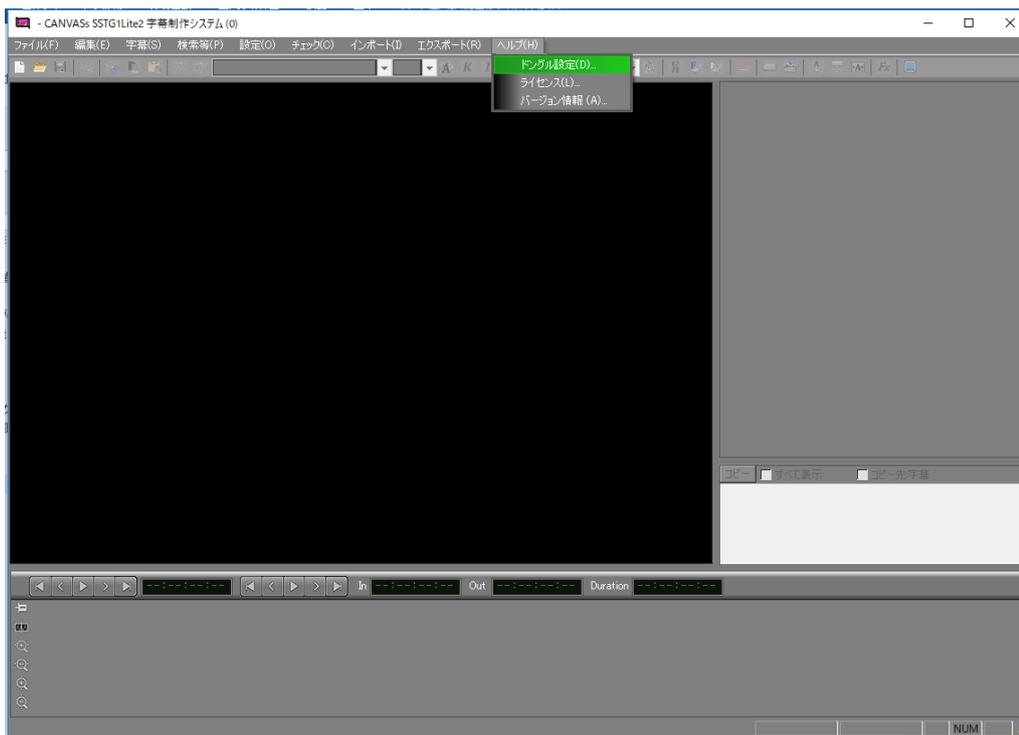
**\*本手順は Ver1.1.1 をご利用のユーザー様のみ行ってください。**

**\*更新するドングルを挿してください。**

①ソフトをダブルクリックして立ち上げます。

※プロジェクトファイルも映像データも開かないで下さい。

②[ヘルプ] メニューの [ドングル設定] をクリックします。

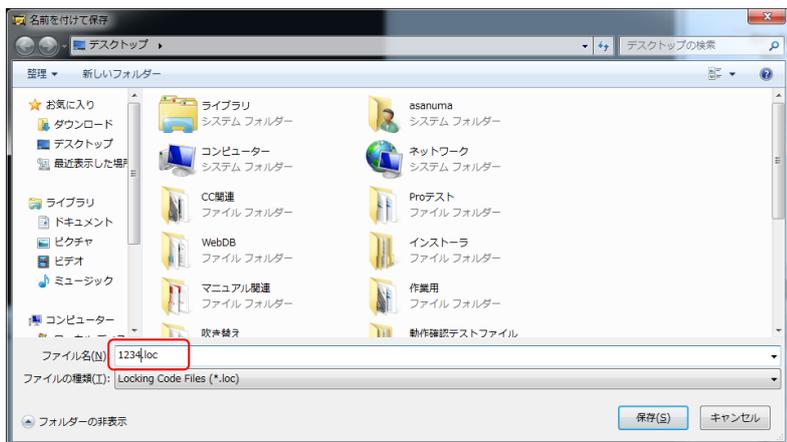


③[ロッキングコード取得]をクリックします。



④[ロッキングコードファイルを作成しますか?] とメッセージが出るので、[はい]をクリックします。

- ⑤ ドングル番号 ( i + 数字またはアルファベット混合の4桁の番号) をファイル名として入力し、保存先を指定してください。



※ファイル名にあらかじめ「\*.loc」が入っている場合は削除して、名前を付け直してください。

- ⑥ ロッキングコードが入っていることを確認し、[閉じる]をクリックします。



- ⑦ 保存先に、.loc ファイルが出来ます。このファイルを添付して株式会社カンバス宛にメールしてください。

メールアドレス sales@canvass.co.jp



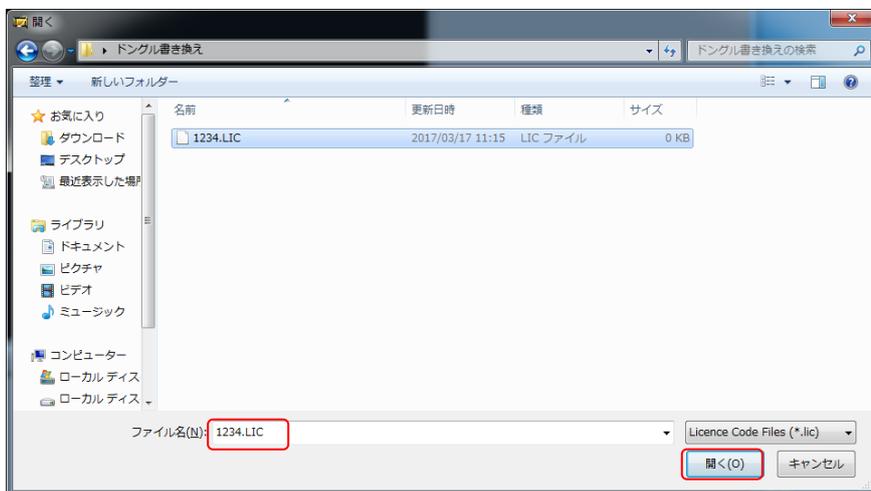
- ⑧ 株式会社カンバスから、.lic ファイルを添付したメールが来ます。このファイルをパソコン上に保存してください。



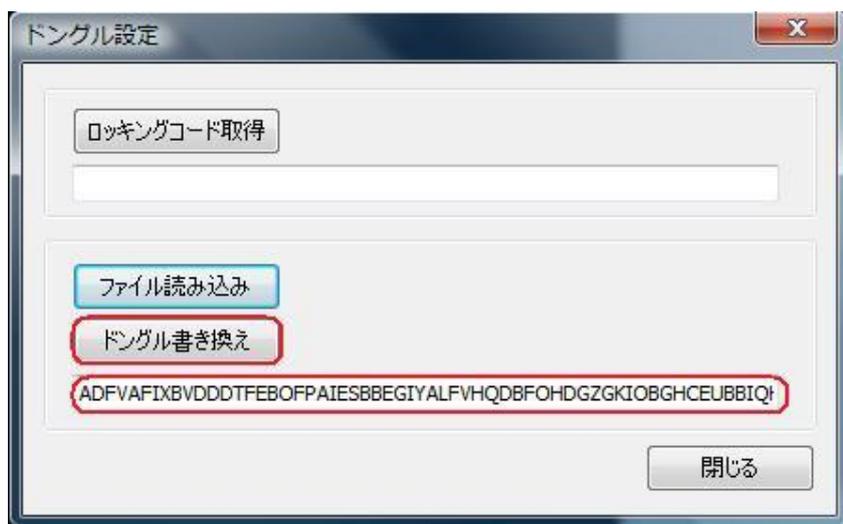
⑨②を参考に、[ dongle 設定 ] のダイアログを表示し、[ ファイル読み込み ] をクリックします。



⑩. lic ファイルを選択し、[ 開く ] をクリックします。



⑪ ライセンスコードが入っていることを確認して、[ dongle 書き換え ] をクリックします。



⑫ dongle の書き換えが完了しました。

**【ご注意下さい！】**

更新済み dongle では Ver1.1.1 はご利用いただけません。

複数のパソコンでご利用されている場合、dongle 更新が完了しましたら、すべてのパソコンの SSTG1 Lite2 を最新バージョンにアップデートしていただくようお願いいたします。

なお、カンバスからの .lic ファイル送信は、平日の営業時間内での対応となります。

弊社休業中に先にソフトのアップデートをされますと、すぐに dongle 更新を行えず、その間字幕ファイルの編集ができませんのでご注意ください。その場合は、一度 SSTG1 Lite2 をアンインストールし、Ver1.1.1 を再インストールしてください。